取扱説明書
カロリー測定装置　カロリーアンサー®

Calory　Answer

❍お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
❍ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
❍お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

・ご使用の前 ---------- 3 ～ 4
・据え付けるとき ---------- 4 ～ 6
・使用するとき ---------- 6 ～ 7
・ランプ交換手順 ---------- 7

ご使用の前に

・各部のなまえ ---------- 8
・知っておいてください ---------- 9
・使える容器 ---------- 9
・操作部の説明 ---------- 10

食品を測定する

・電源の入れかた／切りかた ---------- 11
・操作の流れ ---------- 12～13
・メニューで食品を選ぶ ---------- 14～15
・一般、ヘルシー、パン類、生肉、ハム類、ケーキモードで測定する ----- 16～17
・食品を追加して測定する ---------- 18～19
・とりけしボタンの操作 ---------- 20
・機能を設定する ---------- 21～22
・こんな表示が出たとき ---------- 23
・お手入れ ---------- 24
・保証とアフターサービス ---------- 25
・仕様 ---------- 26
・オプションのご紹介
　ラベルプリンタ ---------- 27～28
　塩分計 ---------- 29～32
　データ管理プログラム ---------- 33～38

2

安全上のご注意　必ずお守りください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

- してはいけないことを表しています。
- 分解や修理改造の禁止を表しています。
- 触れてはいけないことを表しています。
- しなければならないことを表しています。
- 必ず電源コードをコンセントから抜くことを表しています。
- 必ずアースをすることを表しています。

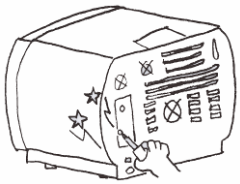
ご使用の前

⚠危険

分解禁止

自分で絶対に分解・修理・改造をしない

感電・火災・けがの原因になります。
修理は、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。



禁 止

吸排気口や穴などに、ピンや針金などの金属物や異物を入れない
特に子供のいたずらなどに注意

感電・けがや故障の原因になります。
異物が入った場合や修理は、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

⚠警告

必ず実施

電源は、交流 100V で、定格 15 A（アンペア）以上のコンセントを単独で使用する

交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁 止

電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショートによる発火の原因になります。また、電源プラグは確実に差し込んでください。

安全上のご注意

ご使用の前（つづき）

警告

禁 止

電源コードや電源プラグを、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

電源はプラグの刃や、刃の取付面に付着したほこりは拭き取る

火災の原因になります。

注意

禁 止

電源コードや電源プラグは、吸排気口や温度の高いところに近づけない

火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

長時間、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化により漏電火災の原因になります。

プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

据え付けるとき

警告

包装材を取り除く

使用前に、包装材はすべて取り除く

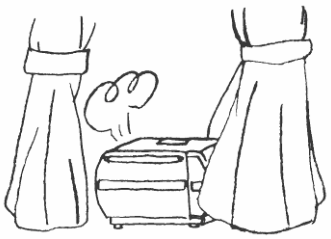
故障の原因になります。

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する

頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

禁 止

燃えやすいもの、熱に弱いものを近づけない



たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの敷物の上に置いたり、カーテンなどの燃えやすいものや、スプレー缶を近づけないでください。
引火や破裂したり、敷物などは、変型・変色・反りの原因になります。

安全上のご注意

据え付けるとき（つづき）

警告

アース線接続

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。
・取り付けは、販売店または電気工事店にご相談ください。

●アース端子付コンセントがある場合

・アース線先端の皮をむき、アース端子に確実に固定します。

●アース端子がない場合

・アース棒（別売り）を使用して、アース工事（電気工事資格者によるＤ種接地工事）を行ってください。
お買い上げの販売店かお近くの電気工事店にご相談ください。（工事は有料）

●アース工事（電気工事資格者によるＤ種接地工事）が必要な据え付け場所

・湿気の多い場所
土間・コンクリート床、地下室、飲食店の厨房
酒・しょうゆなどの醸造、貯蔵所。

・水気の多い場所（アースとともに漏電遮断機も設置必要）
八百屋・魚屋の洗い場など、水を扱う所・水滴の飛び散る所。
地下室のように結露が起きやすい所。

●アース線を接続できないもの

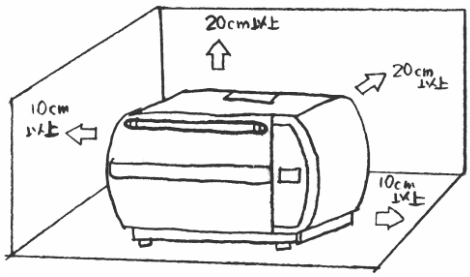
・ガス管、水道管、電話線のアース、避雷計、（法令で禁止されています。）

注意

必ず実施

壁との間を開ける

加熱して発火や故障の原因になります。
吸排気口が直接あたらないように据え付けてください。

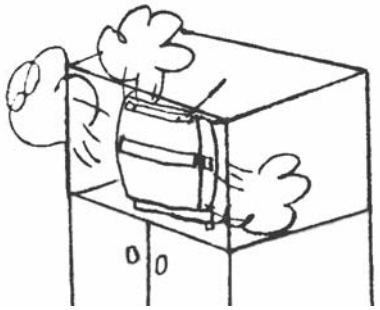


場所	隔離距離
上方	２０ｃｍ
左方	１０ｃｍ
右方	１０ｃｍ
前方	解放
後方	２０ｃｍ
下方	０ｃｍ

禁止

すき間があっても５面を囲む設置はしない

加熱による発火・壁の汚れ・機能低下の原因になります。



安全上のご注意

据え付けるとき（つづき）

⚠ 注意

水のかかるところや熱気・火気の近くで使用しない

火災・感電・漏電の原因になります。

・水平で丈夫な場所に置く。
（振動・騒音・本体落下の原因）
・ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3m 以上離す。（雑音や映像の乱れの原因）
受信感度の弱い場合には、さらに雑音が小さくなるまで離してください。
・落雷の恐れがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く。（故障の原因）

使用するとき

⚠ 警告

禁 止

測定中に、電源プラグを抜き差ししない

火花が発生し、火災・漏電の原因になります。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けが・やけどの原因になります。

⚠ 注意

禁 止

扉やハンドルに無理な力を加えたりぶらさがらない

本体が倒れてけがの原因になります。

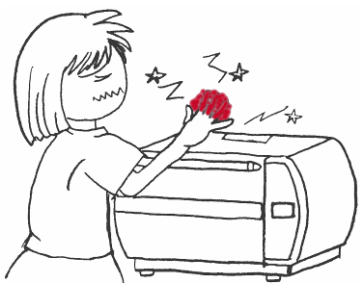
禁 止

扉に物をはさんだまま使用しない

故障の原因になります。

禁 止

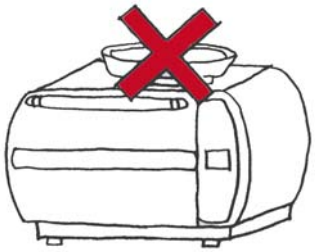
測定中は本体に直接触れない



禁 止

本体の上に物を置かない

加熱して焦げ、変形の原因になります。



安全上のご注意

使用するとき（つづき）

⚠ 注意

禁 止

吸排気口をふさがない

加熱して故障の原因になります。

禁 止

測定する食品は、約 1500g 以上の物は測定しない

故障の原因になります。

必ず実施

扉の開閉に注意する

けがの原因になります。

必ず実施

装置が転倒、落下した場合は、使用せず点検を依頼する

感電・故障の原因になります。

禁 止

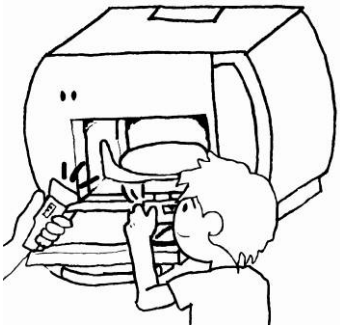
皿に衝撃を与えない

破裂してけがの原因になります。
食品の出し入れのとき、庫内や扉にぶつけないようにしてください。

禁 止

庫内に強い光を入れない

故障の原因になります。



必ず実施

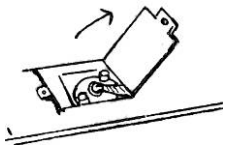
測定するときは、皿の物をこぼさないよう注意する

故障の原因になります。

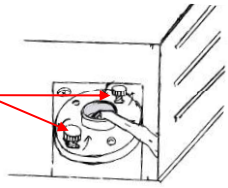
ランプ交換手順

1 ランプ交換部を開く

プラスドライバーをご用意ください。



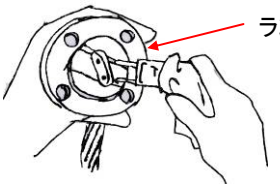
2 ローレットノブをはずす



3 ランプを交換する

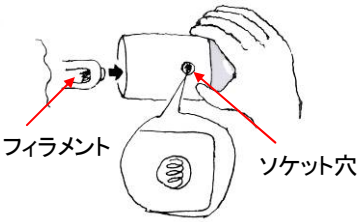
ランプはティッシュ等で軽く持ち、
素手では行わないで下さい。

4 ランプソケットを持ち上げて、ランプを軽く差し込む



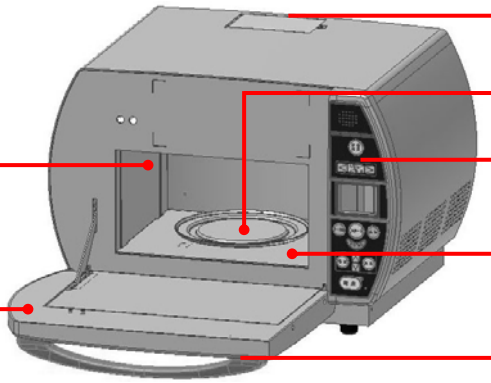
5 ランプ交換治具で押し込む

ソケット穴からフィラメントが見えることを確認して下さい。

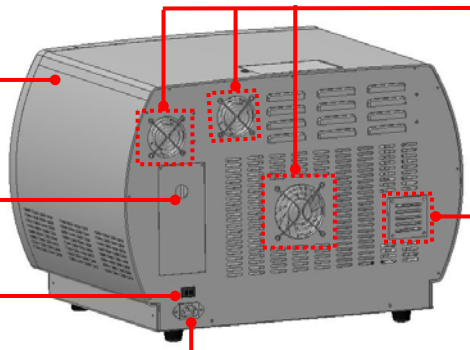


各部のなまえ

正　面



ランプ交換部
レンジテーブル
庫内
操作パネル
上下テーブル
測定中に上下します
扉
ハンドル



排気ファン
ボディ
メンテナンス部
吸気口
主電源
電源コード差込口

背　面

お願い　メンテナンスロは、サービスマン以外の人は絶対開けないでください。（感電・ケガの恐れ）

付属品

●電源コード　1本

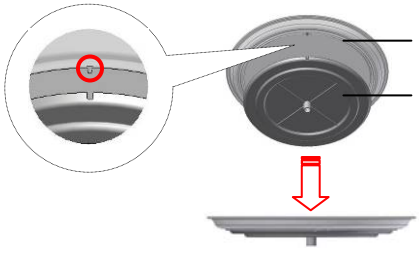
●ランプ　1個

●ランプ交換治具　1個

（交換手順　7ページ）

●レンジテーブル

●測定皿　2枚



レンジテーブルの溝と回転皿の溝を合わせてセットします。ズレている場合は、正確な測定がおこなわれない可能性があります。

●基準セル（スクロース）1個

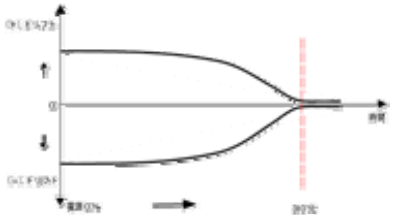
●取扱説明書（1冊）

●保証書／サービスノート

知っておいてください

暖機運転について

カロリー測定値を安定させるため、装置内が一定温度に達するまで 30～70 分間電源を入れたままにした後に測定開始してください。



【ドリフト図】

重量測定について

食品の正確な重さを知るため、重量センサーが内蔵されています。電源を入れた後や皿を変えた場合は、重量センサーの「0g」調整をしてください。回転皿と皿のがたつきがないように正しくセットし、確実におこなってください。
（13・16・18・19 ページ）

食品は皿の中央に置く

食品は皿の中央にのせ、できるだけ平らにし、はみ出さないように置いてください。食品や容器がはみ出ていると、回転や上下動作のさまたげになり、こすれ音がしたり、庫内にこぼれたりして、正確な測定ができませんので正しくセットしてお使いください。

履歴機能について

測定が終わり、カロリー表示が出た後、履歴も表示できます。（22 ページ）

測定中の扉開閉について

測定中は、扉を開かないようにしてください。
測定値が安定しません。

赤外線センサー

庫内に強い光を入れないでください。

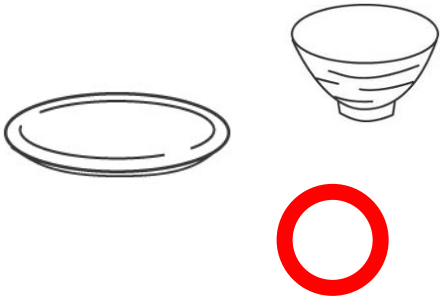
より正確に測定するには

測定する食品の食材が均一に混ざりあった状態で測定します。
（例）食品をミル状（フードプロセッサ等で）にしたもの。
※ エビフライやトンカツなどは切って切り口を見せるようにすることでより高い測定ができます。

使える容器　使えない容器にご注意を

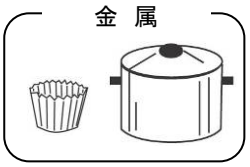
使える容器

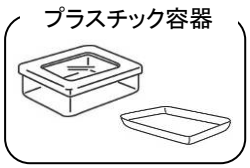
日常使っている容器 （陶磁器）
ただし、色柄のものは正確な測定が表示されません。白・ベージュ系が適しています。



使えない容器

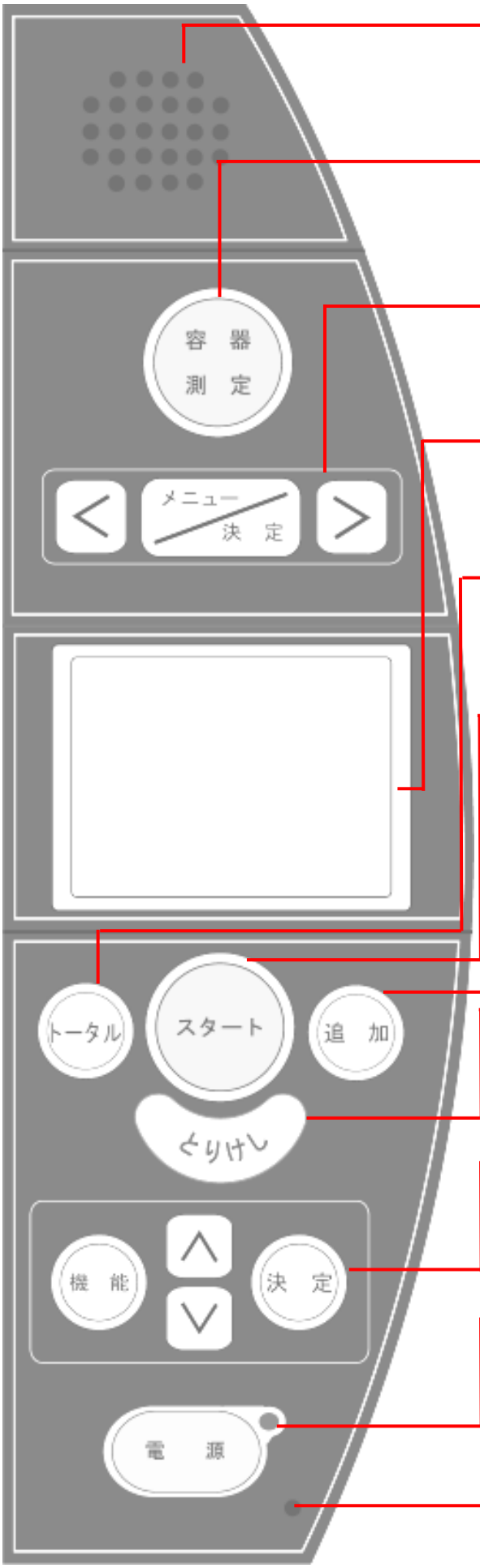
ガラス容器、プラスチック（発泡トレー）、金属などが使用できません。





■付属品の皿を使用することをおすすめします。

操作部の説明



スピーカー
音声が流れます。

容器測定 ボタン
測定を開始する前に、押します。
容器の重さを「0g」に設定します。

メニュー／決定（＜・＞） ボタン
食品モードを設定するときに押します。（14・15 ページ）

表示窓
設定画面や測定結果が表示されます。

トータル ボタン
追加したトータル（合計）を表示するときやトータル画面でメイン画面に戻るときに押します。（20・21 ページ）

スタート ボタン
測定をスタートするときに押します。

追加 ボタン
食品の測定結果を追加するときに押します。
（19・20 ページ）

とりけし ボタン
途中で測定をやめるときや、操作をとりけすときに押します。（21 ページ）

機能（∧・∨）決定 ボタン
測定履歴・ラベルプリンタ接続・塩分計測定器接続・速さ測定画面・音量設定画面を表示するときや選択するときに押します。また、操作中のとりけし画面の切替時（はい・いいえ）に押します。（21・22・23・28・30・31・32 ページ）

電源 ボタン
本体の電源を ON/OFF にします。電源ボタンを押すと電源ランプが緑色になります。

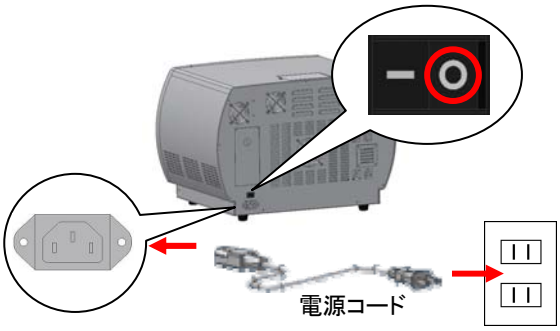
リセット ボタン
初期化状態にするときに押します。

電源の入れかた／切りかた

電源コードを接続→主電源スイッチを入れる→電源を入れる→測定開始
電源を切る→電源ボタンを押す→主電源スイッチを切る

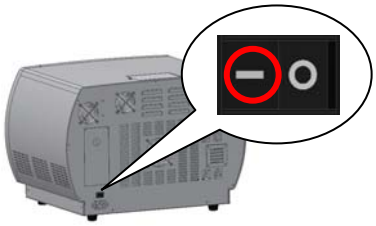
1 電源コードを接続

電源コードを本機に接続するときは、本体背面の主電源スイッチが「O（切）」になっていることを確認してから電源コード差込口に接続してください。



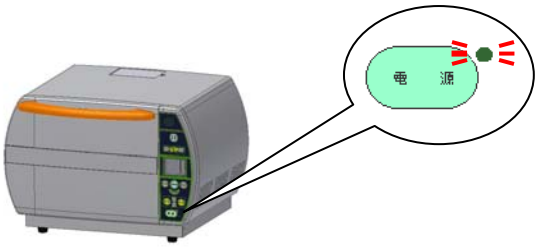
2 主電源スイッチを入れる

本体背面の電源スイッチを「—（入）」にします。



3 電源を入れる

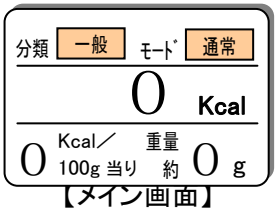
本体正面の電源ボタンを押すと、電源ランプが緑色になります。



4 初期化中～動作環境の安定化

「操作の流れ」（12・13 ページ）を参照してください。

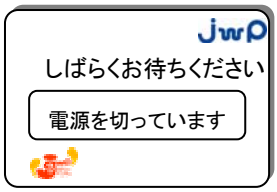
5 測定開始　【メイン画面】に切り替わります。

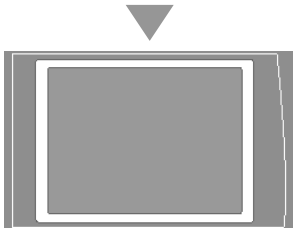


【メイン画面】

電源の切り方

1 電源を切る

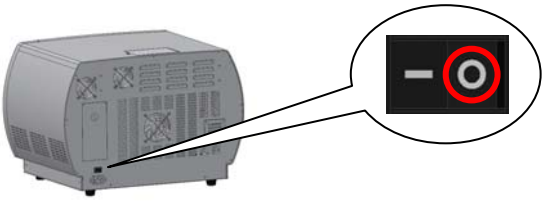




電源が切れた状態

2 主電源スイッチを切る

本体背面の電源スイッチを「O（切）」にします。



※電源を切っても、以前の履歴は残っています。

操作の流れ

1 電源を入れる

本体正面の電源ボタンを押すと
電源ランプが緑色になります。

2 初期化～動作環境の安定化

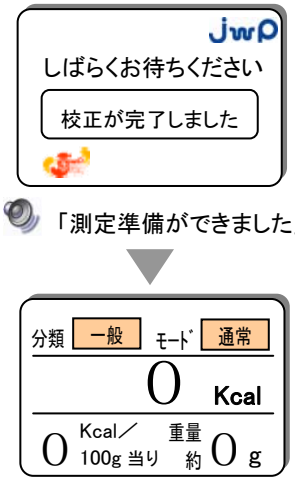
※モーター作動中のため、初期化中は扉を開かないでください。
警告画面が表示されます。(24 ページ)

※通常は [は い] を選びます

※あらかじめ電源を入れてから、すぐ使用しない場合は [いいえ]
を選択する事を推奨(目安として1時間後以降に使用する場合)

∧ ∨ を押して [は い] を選び (決定) を押す

[いいえ] を押すと



【メイン画面】に切り替わります。

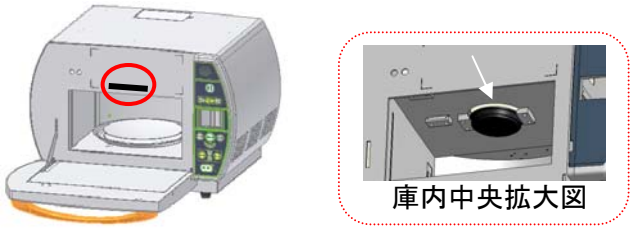
3

基準セルをセットし、
「スタート」を
押してください

「基準セル」のセットの仕方

1. 庫内左端より、「基準セル」を右へスライドさせ外します。

2. 庫内中央のホルダに、「基準セル」を手前から奥へ水平にスライドさせ、セットします。



4

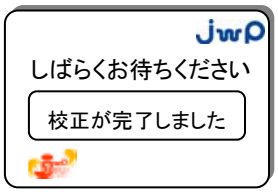
(スタート) を押す

① 暖機運転について安定した測定を行うために
② センサ等の動作環境を整える必要があります
③ 現在暖機のため待機しています
④ 室内の温度は取扱説明書の環境に合っていますか
⑤ 使用環境を一定にすることでより安定した測定ができます
⑥ 中断したいときは「とりけし」で中断できます

操作の流れ （つづき）

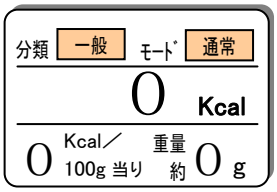
5 動作環境が安定するまで①～⑥を繰りかえします。

6 校正画面に切り替わります。



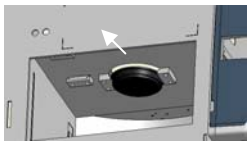
「測定準備ができました」

7 測定開始　【メイン画面】に切り替わります。

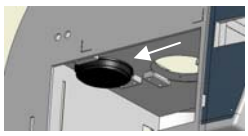


【メイン画面】

8 「基準セル」を外します。

① 

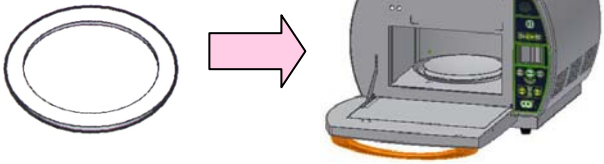
庫内中央より、「基準セル」を外します。

② 

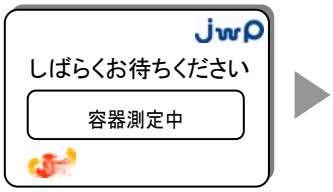
庫内左端へ、「基準セル」をセットします。

9 容器測定　皿の重さを「0g」に設定します。

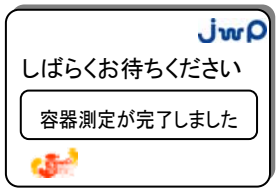
皿をのせます。



10 扉を閉めて、容器測定 を押す

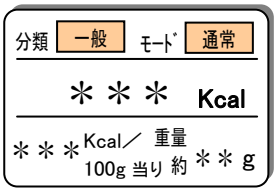


「容器測定中です」



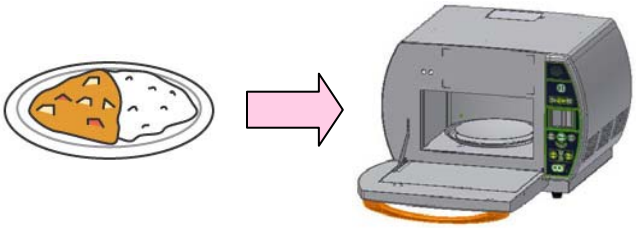
「容器測定が完了しました」

【メイン画面】に切り替わります。



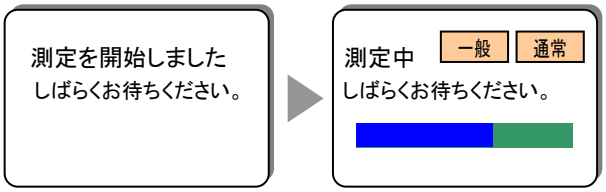
11 食品を入れる

皿を取り出し、食品を皿の中央にのせて、庫内に入れます。扉を閉めてください。



12 スタート を押す

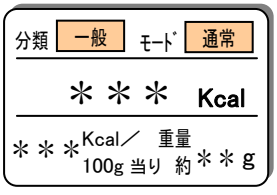
※扉を開けたまま、スタートボタンを押すと、警告画面に切り替わり、音声が流れます。（24 ページ）



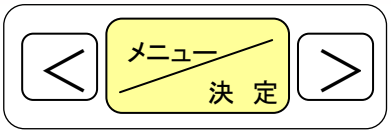
「しばらくお待ちください」

13 測定結果が表示

「＊＊＊キロカロリーです」



メニューで食品を選ぶ



食品を選ぶ→食品を測定→測定結果

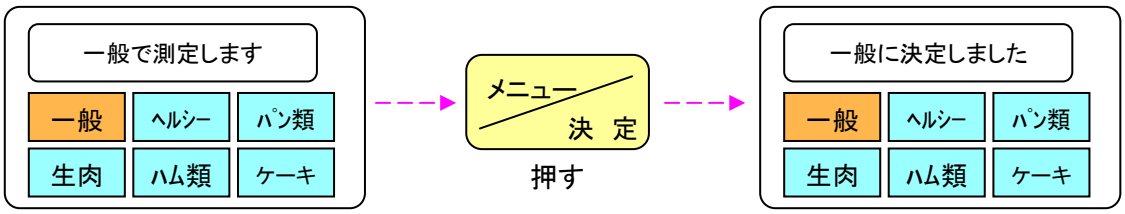
を押し、＜ または ＞ を押して、測定する食品を選び、

を押して決定

●「一般」を選んだ場合

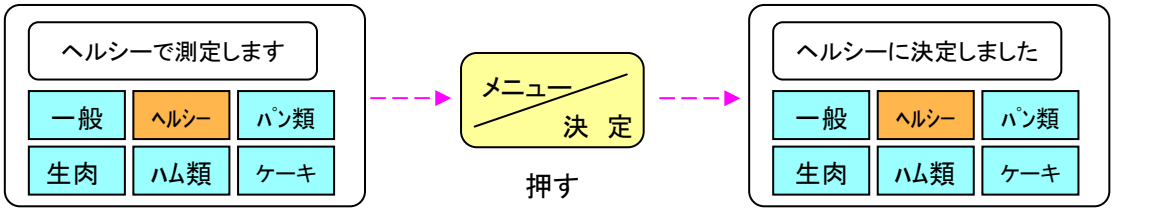
通常は「一般モード」に設定されています

「一般モードで測定します」



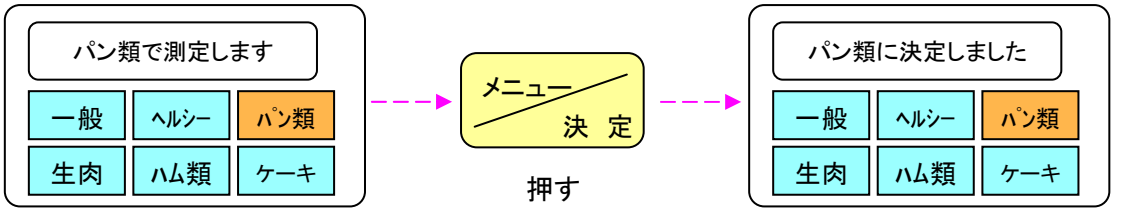
●「ヘルシー」を選んだ場合

「ヘルシーモードで測定します」

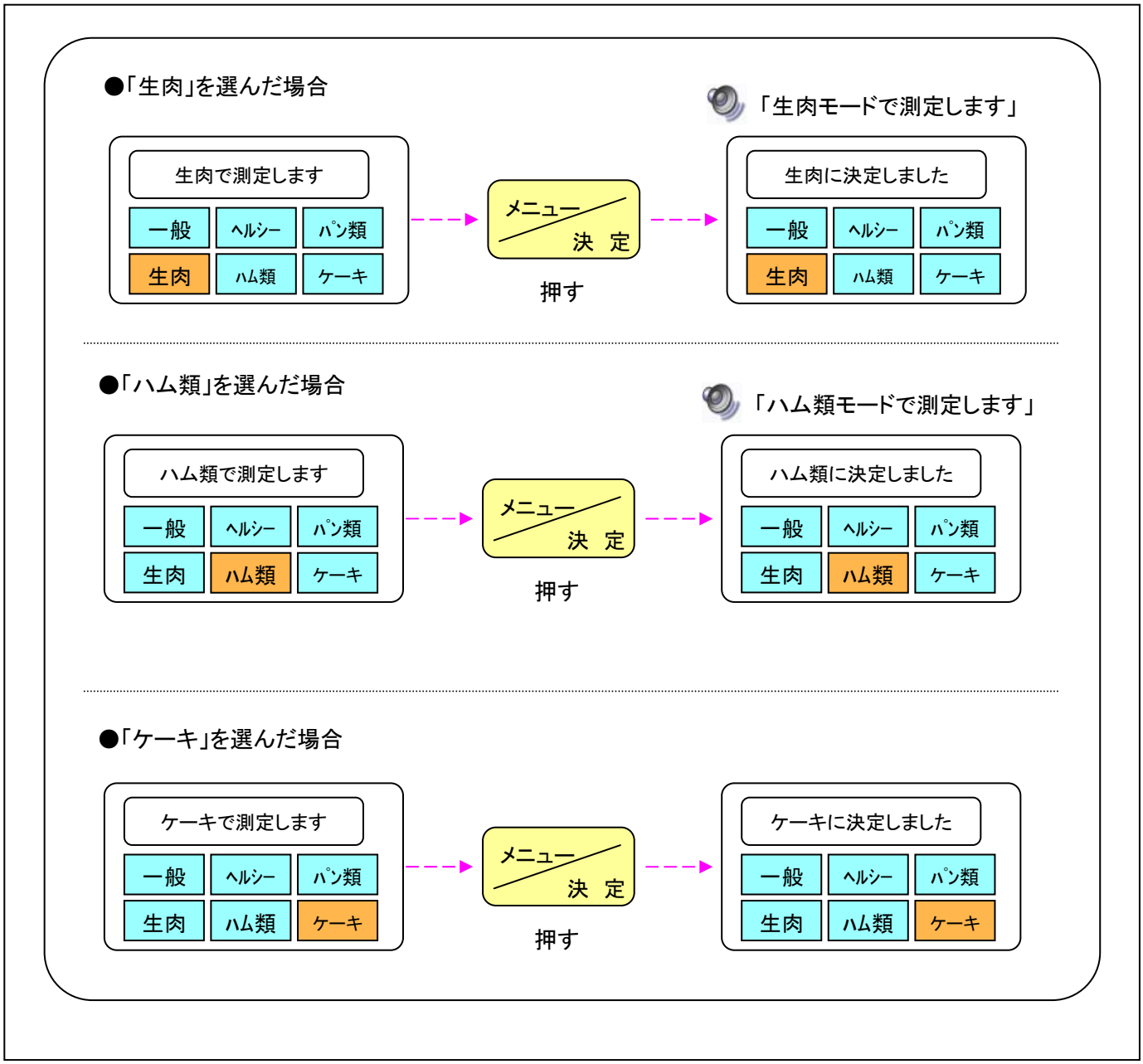


●「パン類」を選んだ場合

「パン類モードで測定します」



メニューで食品を選ぶ （つづき）



一般・ヘルシー・パン類・生肉・ハム類・ケーキモードで測定する

容器を測定→「食品」を測定→測定結果

●食品例

一般モード

チャーハン

カレーライス

ナポリタン

生肉モード

豚肉

とり肉

牛肉

ヘルシーモード

きのこ類

サラダ

果物類

ハム類モード

ハム

ウィンナー

ベーコン

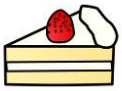
パン類モード

食パン

サンドイッチ

ドーナツ

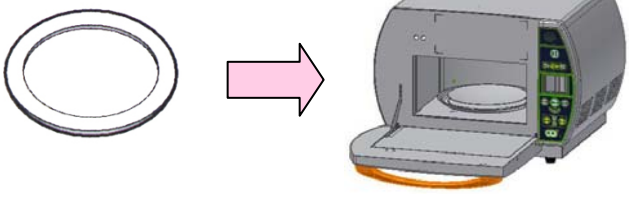
ケーキモード


ショートケーキ

チーズケーキ

1 容器測定　皿の重さを「0g」に設定します。

皿をのせます。

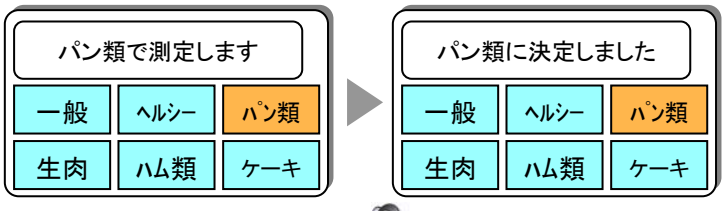


2 扉を閉めて 容器測定 を押す

「容器測定中です」　「容器測定が完了しました」

3 例：「パン類モード」でドーナツを測定します。

メニュー／決定 を押し、＜ または ＞ を押して、「パン類」を選び、メニュー／決定 を押して決定

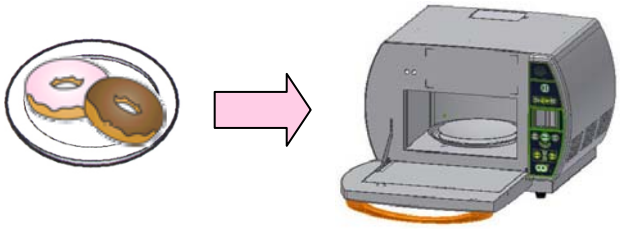


「パン類モードで測定します」

一般・ヘルシー・パン類・生肉・ハム類・ケーキモードで測定する（つづき）

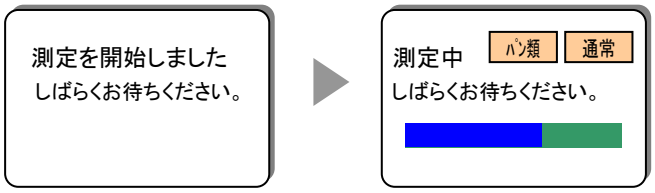
4 食品を入れる

皿を取り出し、食品を皿の中央にのせて、
庫内に入れます。扉を閉めてください。



5 スタート を押す

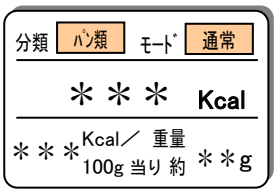
※扉を開けたまま、スタートボタンを押すと、警告画面に切り替わり、音声が流れます。（24 ページ）



「しばらくお待ちください」

6 測定結果が表示

「＊＊＊キロカロリーです」

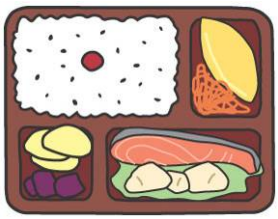


食品を追加して測定する

～数種類の食品（例：お弁当など）を測定する場合～

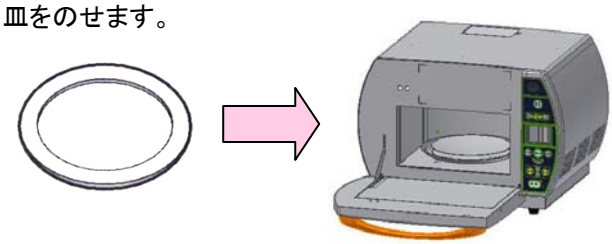
最初の食品を入れる→測定結果を表示→追加→次の食品を測定→追加→繰り返す
→追加された合計が表示

●例：お弁当を測定の場合



1 容器測定　皿の重さを「0g」に設定します。

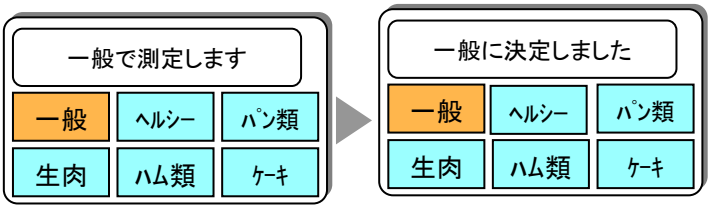
皿をのせます。



2 扉を閉めて 容器 測定 を押す

「容器測定中です」　「容器測定が完了しました」

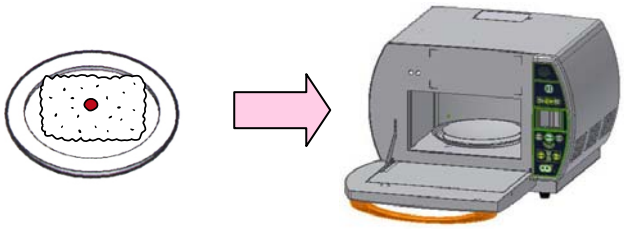
3 メニュー 決定 を押し、＜ または ＞ を押して、「一般」を選び、メニュー 決定 を押して決定



「一般モードで測定します」

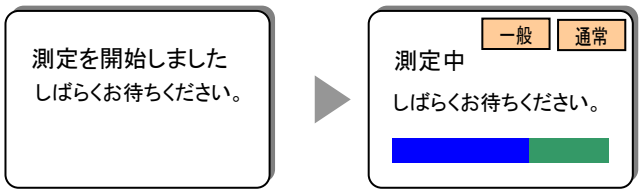
4 最初の食品を入れる

皿を取り出し、食品を皿の中央にのせて、
庫内に入れます。扉を閉めてください。



5 スタート を押す

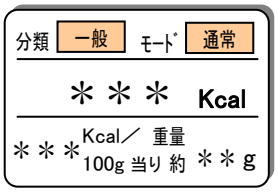
※扉を開けたまま、スタートボタンを押すと、警告画面に切り替わり、音声が流れます。（24 ページ）



「しばらくお待ちください」

6 測定結果が表示

「＊＊＊キロカロリーです」

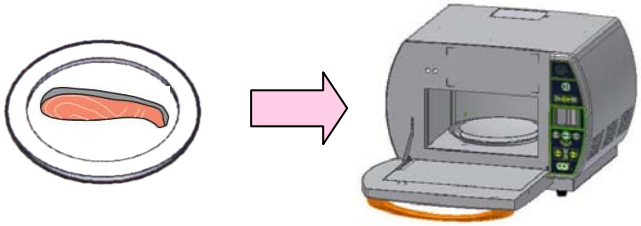


7 追加 を押す

【追加を押した後の表示画面】

8 次の食品を入れる

最初の食品を取り出し、次の食品を皿の中央にのせて、
庫内に入れます。扉を閉めてください。

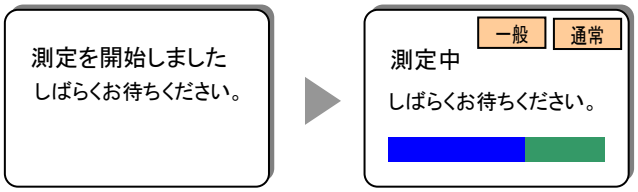


食品を追加して測定する （つづき）

9 皿を変えた場合は、容器測定をおこなってください。

スタート を押す

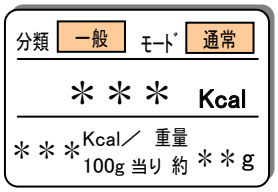
※扉を開けたまま、スタートボタンを押すと、警告画面に切り替わり、音声が流れます。（24 ページ）



「しばらくお待ちください」

10 測定結果が表示

「＊＊＊キロカロリーです」



11 追 加 を押す

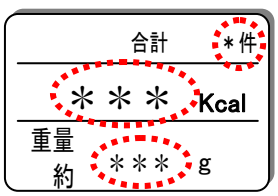
【追加を押した後の表示画面】

12 食品の追加は、

8～11 の操作を繰り返す

13 追加された合計を表示

トータル を押す



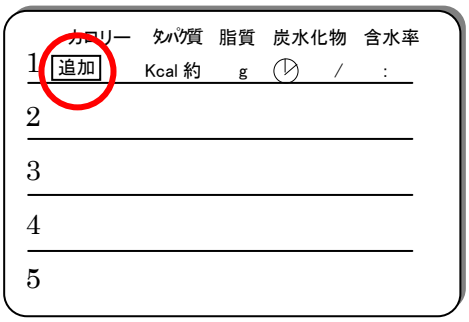
今まで「追加」された件数、Kcal、重量のトータルが表示されます。

補足

測定履歴画面では、「追加」ボタンを押したとき「追加」の文字が表示されます。

機能 を押して【測定履歴】を表示

【測定履歴画面】



追加の表示がないときは、

トータル を押しても表示されません。

「追加」ボタンを押したときにだけ、表示されます。

とりけしボタンの操作

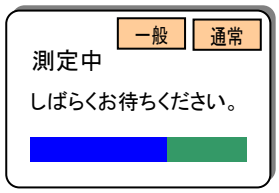
～こんなときに操作します～

●測定を途中でやめるとき　●表示された画面のとりけし

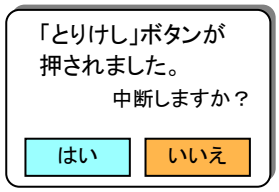
●追加した測定分のとりけし（トータルクリア）

測定を途中でやめるとき

「とりけし」ボタンを押すと「とりけし画面」が表示される



とりけし　押す



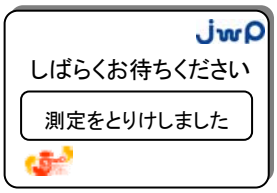
「とりけし画面」

はい　いいえ　を選ぶとき

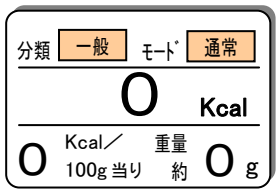
∧ ∨　で選び

決定　押す

はい　を選んだ場合

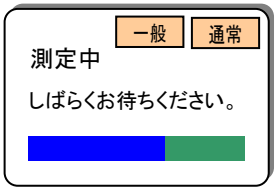


「測定をとりけしました」



「とりけされた画面」

いいえ　を選んだ場合



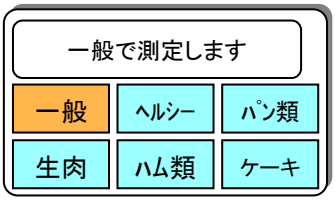
「測定継続画面」

測定を継続

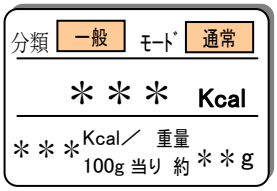
表示された画面のとりけし

「メニュー／決定」ボタンを押してとりけす場合

メニュー／決定　を押す



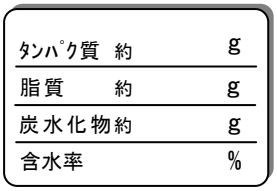
とりけし　押す



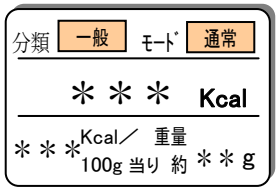
「メイン画面」

「機能」ボタンを押してとりけす場合

決定　を押す



とりけし　押す



「メイン画面」

追加した測定分のとりけし（トータルクリア）

「追加」ボタンを押して追加された合計表示をとりけす場合

「トータル画面」

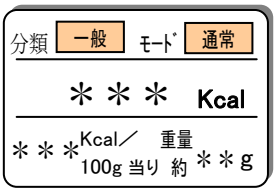
とりけし　押す

「とりけされた画面」

「トータル画面」で「トータル」ボタンを押すと「メイン画面」に戻る

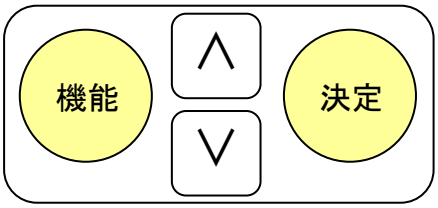
「トータル画面」

トータル　押す



「メイン画面」

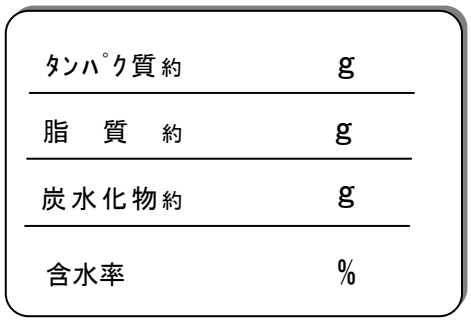
機能を設定する



機能を押す→成分表→測定履歴→ラベルプリンタ接続
→塩分測定器接続→速さ設定→音量設定

を押すごとに、「成分表」・「測定履歴」・「ラベルプリンタ接続」・「塩分測定器接続」・「速さ設定」・「音量設定」に変わります。

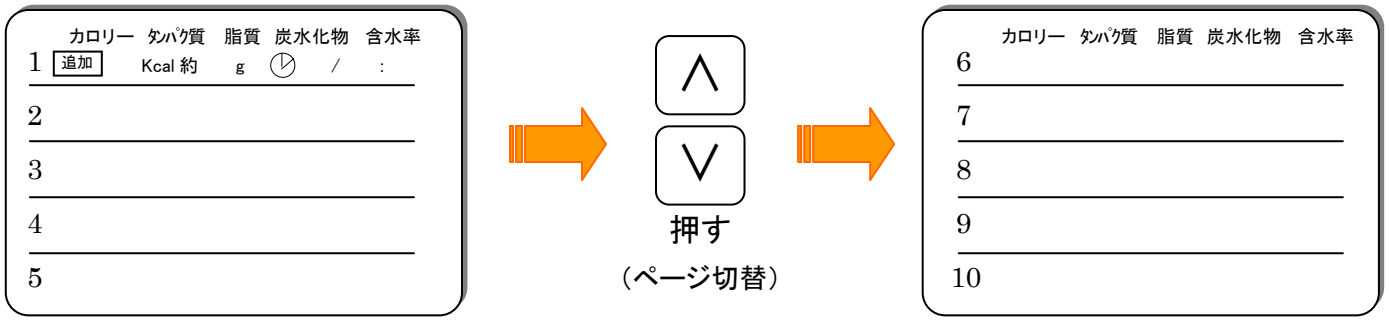
【成分表】



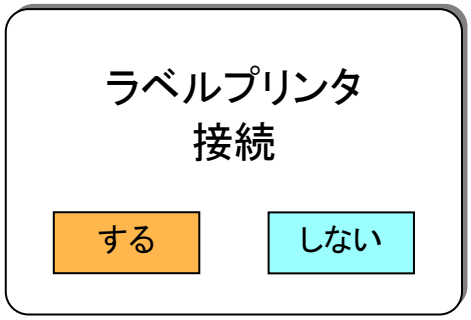
皿にのせた食品の成分が表示されます。

【測定履歴】

10 回までの測定履歴が表示されます。測定の新しい順に 1 から表示され、履歴が増すごとに以前の履歴は順に消去されます。

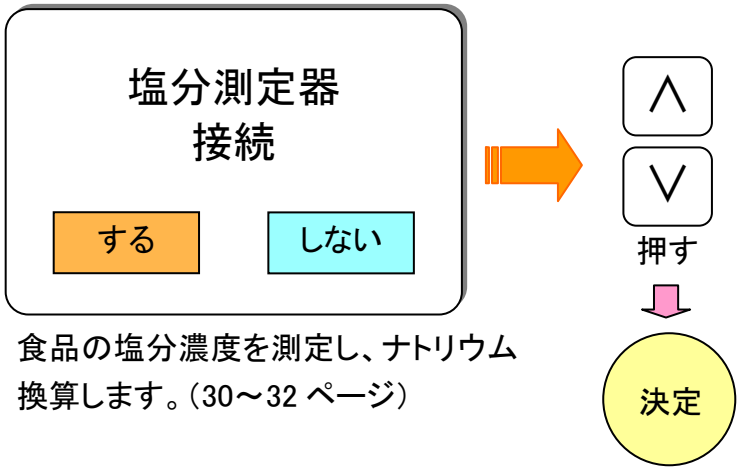


【ラベルプリンタ接続】
---オプション（別売品）---



測定した結果が印刷され、ラベル（シール）として使用できる機能です。（28～29 ページ）

【塩分測定器接続】
---オプション（別売品）---



食品の塩分濃度を測定し、ナトリウム換算します。（30～32 ページ）

機能を設定する （つづき）

∧ ∨ ➡ 押す
（設定画面を選ぶ）

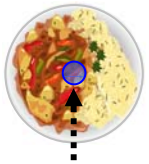
【速さ設定画面】測定時間・基準確認を設定します。

速さ設定画面
- 簡易
- 通常
- 詳細
- 検査 1
- ランプ

1分程度で測定が完了します。
均一化されたものを測定します。

【簡易】

【測定範囲】



中心から直径 約2cm

速さ設定画面
- 簡易
- 通常
- 詳細
- 検査 1
- ランプ

3分程度で測定が完了します。
通常はこのモードで測定します。

【通常】

【測定範囲】

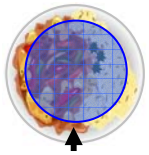
中心から直径 約6cm

速さ設定画面
- 簡易
- 通常
- 詳細
- 検査 1
- ランプ

10分程度で測定が完了します。
均一化されていないものを測定します。

【詳細】

【測定範囲】



中心から直径 約15cm

速さ設定画面
- 簡易
- 通常
- 詳細
- 検査 1
- ランプ

1分程度で測定が完了します。
検査1用の測定で基準確認をします。

【検査 1】

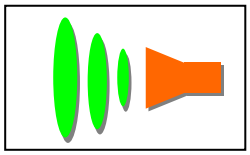
速さ設定画面
- 簡易
- 通常
- 詳細
- 検査 1
- ランプ

ランプ点灯時間
＊＊＊時間

【ランプ】

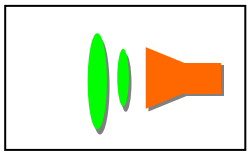
【音量設定画面】音声ガイダンス音量を設定します。

音声設定画面
- 大
- 中
- 小
- 消音



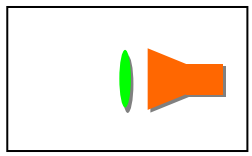
【音量：大】

音声設定画面
- 大
- 中
- 小
- 消音



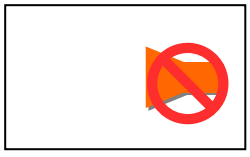
【音量：中】

音声設定画面
- 大
- 中
- 小
- 消音



【音量：小】

音声設定画面
- 大
- 中
- 小
- 消音



【音量：消音】

リセットの仕方 ：ランプ交換後におこなってください。

トータル と 追 加 を同時に押しながら、決 定 を押す

こんな表示が出たとき

表示例	理由（原因）	処置
扉を閉めてください 扉を閉めると 再開します	●扉を開いたまま「スタート」ボタンを押したとき表示されます。 「とりけし」画面に切り替わります。	●扉を閉めて「スタート」ボタンを押してください。
	●測定中（モーター作動中）に扉を開いたとき表示されます。	●測定中は扉を開かないでください。 測定値が安定しません。
注意！ 測定する物が 約 30g 以上必要です 測定を中止します	●測定する物の重さが 約 30g 以下の場合に表示されます。 「とりけし」画面に切り替わります。	●測定する物の重さを約 30g 以上にしてください。
注意！ 検査セルが 傾いています 測定を中止します	●検査セルが傾いてセットされています。	●扉を開いて水平になるようセットし直してください。
！ファンエラー 分類 一般 モード 通常 ＊＊＊ Kcal ＊＊＊ Kcal／100g 当り 重量 約＊＊g	●！ファンエラー ファンに一箇所だけでも異常があった場合に表示されます。	●故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて必ず販売店に点検・修理をご依頼してください。
ファン状態画面 ファン 1 正常 ファン 2 異常 ファン 3 正常 ファン 4 正常 ファン 5 正常	機能 「機能」ボタンを押すと、ファン状態画面で異常が確認できます。	（サービスマン以外の人は絶対にボディ を開けないでください。）
システムエラー E01 E02 E03	●回転テーブルの不具合	●故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて必ず販売店に点検・修理を依頼してください。 （サービスマン以外の人は絶対にボディを開けないでください。）
E04 E05	●断線、回路故障	

故障かな？　修理を依頼される前にお調べください

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・主電源が「切」の状態になっていませんか？	11ページ
音声が出ない	・「消音」になっていませんか？	23ページ
測定に異常を感じたら	・検査1モードで確認してください	23ページ
測定中に音がする	・モーターの作動音です	

お手入れ 汚れたら、すぐに！こまめに！が、お手入れ上手のポイントです

⚠ 警告

プラグ抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けが・やけどの原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

⚠ 注意

必ず実施

本体の掃除は、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う

感電や、やけどの原因になります。

禁 止

食品カスなどで、汚れたままにしない

こびりついて、汚れが取れなくなったりします。

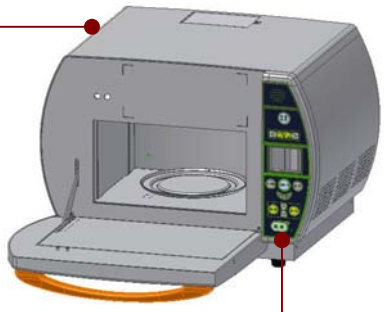
ご注意

・台所用洗剤（中性）以外やスプレー式洗剤は、使用しないでください。
（アルカリ性・弱アルカリ性・弱酸性・酸性の洗剤などやスプレー式洗剤は、操作部表面を傷めたり、故障をおこす原因になります）
・シンナー、ベンジン、アルコール、オーブンクリーナー、クレンザー、換気扇洗剤、漂白剤、金属タワシは使用しないでください。また、塗装面に衝撃を与えないでください。
損傷、変色、変形の原因になります。

扉内側・庫内
レンジテーブルと回転皿を持ち上げて取りはずしてから、かたくしぼったぬれふきんでふきます。
・ひどい汚れは薄めた台所用洗剤（中性）をしみ込ませた布で拭き取り、必ず洗剤分を拭き取ってください。

回転皿
レンジテーブル

お願い
・水をかけないでください。（さびたり故障したりすることがあります。）
・たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。
（傷の原因）



操作部
スプレー式の洗剤を、直接かけないでください。
液が製品内部に浸透し、故障の原因になります。

ボディ・背面（排気ファン）
薄めた台所用洗剤（中性）をしみ込ませた布で拭き取り、必ず洗剤分を拭き取ってください。ホコリは、拭き取ってください。

吸気口
こまめにホコリを取り除いてください。
換気できずに故障の原因になります。

お手入れの仕方
押さえをはずし、フィルタのホコリを取り除きます。

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修理するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

補修用性能部品の保有期間

●当社は、このカロリーアンサーの補修用性能部品を製品の製造打切後、8年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

23 ページの表に従って調べていただき、なお異常があるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

■保証期間が過ぎている場合

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

保 証 書

品　　名	カロリーアンサー
形　　名	（銘板に書いてあります）
ﾏｲｸﾛｿﾌﾄﾗｲｾﾝｽ No	
お 買 い 上 げ 日	年　月　日
ご 住 所	〒
お 名 前	様
電 話 番 号	（　）　－
お客様メモ	
販 売 店 名	
電話（　）	－

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック
〒036-0162　青森県平川市館山前田 85 番地 2
TEL:0172-44-8133　FAX:0172-44-8559

愛情点検

長年ご使用のカロリーアンサーの点検をぜひ！

（熱、湿度、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることがあります。）

このような症状はありませんか？

・電源スイッチを入れても画面が出ない
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
・使用中に変なにおいがしたり、煙が出たりする
・電源スイッチを切っても画面が消えない
・水や異物が入った
・その他の異常や故障がある

ご使用中止のお願い

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。点検、修理に関する費用は、販売店にご相談ください。

仕　様

使　用　電　源	AC100V　50／60Hz
使　用　電　力	350W（MAX）、150W（typ）
装　置　重　量	24kg
測　定　時　間	1～10分
測　定　食　品	食材、食品（液、汁もの以外）全般
精　　度	平均誤差率　6．0%　※
機　　能	●測定項目 総カロリー、水分（含水率）、タンパク質、脂質、炭水化物、、重量 ●履歴表示 モード選択　:一　　般　通常はこのモードで測定 :ヘルシー　野菜などの水分の多いもの 繊維質なものの測定 :パ　ン　類　パン類を測定 :生　　肉　豚肉、とり肉、牛肉などの生肉を測定 :ハ　ム　類　ハム、ウィンナー、ベーコンなどを測定 :ケ　ー　キ　ケーキを測定
測　定　範　囲	直径20cm以内　高さ10cm以内
重量測定限界	約30～1500g（重量測定精度）　約1000g 未満：約±2g、約1000g 以上：約±5g）
設　置　場　所	高温多湿な場所は避ける　　結露なきこと 室内温度　15℃～35℃　　装置周辺20cm 以上の空間を設ける
付　　属　　品	レンジテーブル　回転皿　測定皿　電源コード　ランプ　ランプ交換治具 取扱説明書　保証書／サービスノート

※社団法人青森県薬剤師会及び財団法人食品分析開発センターSUNATEC の検査結果による。

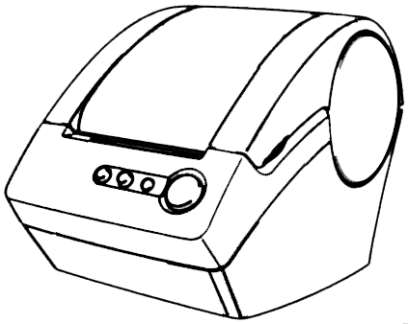
●お客様は、一社又は数社のソフトウェア使用許諾者（「〔貴社の〕ソフトウェアサプラヤ」）から、〔貴社〕に使用許諾されているソフトウェアを組み入れたデバイス（「本デバイス」）を購入されています。MS 製のこれらインストールされているソフトウェア製品は、付属の媒体、印刷物及び「オンライン」の又は電子的ドキュメンテーションとともに（「本ソフトウェア」）、国際的な知的所有権法及び条約によって保護されています。本ソフトウェアは使用許諾されるものであって、販売されるものではありません。全権留保。

■外形寸法（単位 mm）

・設置するときは、上面、背面より20cm以上、両側面より10cm以上の空間を空けて設置してください。
・長時間、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

オプションのご紹介 【ラベルプリンタ】

＜ラベルプリンタ＞



名称：	
総カロリー ＊＊＊ kcal	100g 当り ＊＊＊ kcal
たんぱく質 約 ＊＊＊ g	総量 約 ＊＊＊ g
脂質 約 ＊＊＊ g	含水率 ＊＊＊ %
炭水化物 約 ＊＊＊ g	JWP CA 測定値

測定した結果が印刷され、
ラベル（シール）として使用できます。

＜ラベルプリンタ設定＞

1 測定終了後、測定結果が表示

分類 一般	ﾓｰﾄﾞ 通常
＊＊＊ Kcal	
＊＊＊ Kcal／100g 当り	重量 約 ＊＊g

2 機能 を押して

ラベルプリンタ
接続
する しない
を表示

3 ∧ ∨ を押して する を選び

決定 を押す

＜印刷する場合＞

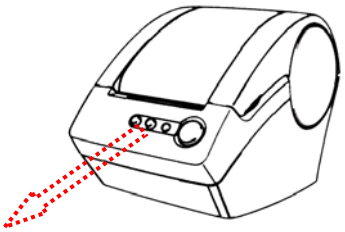
1 決定 を押す

名称：	
総カロリー ＊＊＊ kcal	100g 当り ＊＊＊ kcal
たんぱく質 約 ＊＊＊ g	総量 約 ＊＊＊ g
脂質 約 ＊＊＊ g	含水率 ＊＊＊ %
炭水化物 約 ＊＊＊ g	JWP CA 測定値

決定を押すと印刷します

印刷画面が表示

2 決定 を押すと印刷



名称：	
総カロリー ＊＊＊kcal	100g 当り ＊＊＊ kcal
たんぱく質 約＊＊＊ g	総量 約 ＊＊＊ g
脂質 約＊＊＊ g	含水率 ＊＊＊ %
炭水化物 約＊＊＊ g	JWP CA 測定値

オプションのご紹介 （つづき）

＜印刷をとりけす場合＞

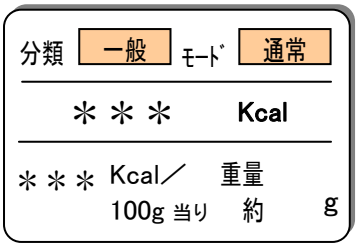
1 印刷画面　表示後

名称：	
総カロリー ＊＊＊kcal	100g 当り ＊＊＊ kcal
たんぱく質 約＊＊＊ g	総量 約 ＊＊＊ g
脂質 約＊＊＊ g	含水率 ＊＊＊ %
炭水化物 約＊＊＊ g	JWP CA 測定値

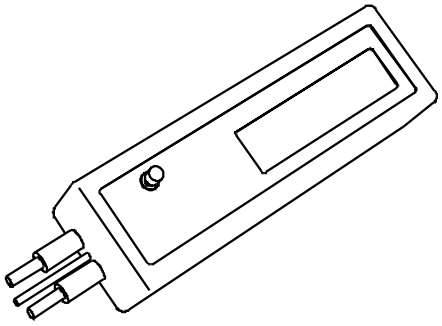
2

を押す

3 印刷はとりけされ、測定結果画面にもどる



オプションのご紹介 【塩分計】

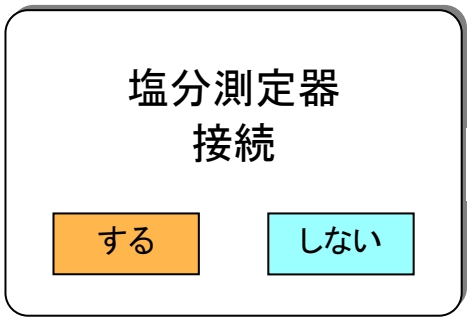


食品の塩分濃度を測定し、ナトリウム換算します。

＜接続のしかた＞

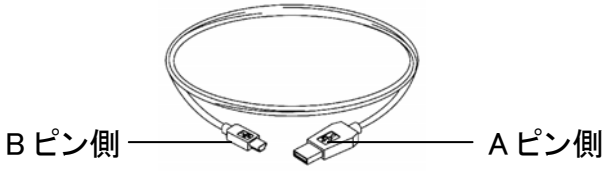
塩分計を使用する際は、必ずこの手順を行って接続するようにしてください。塩分計を認識しない恐れがあります。

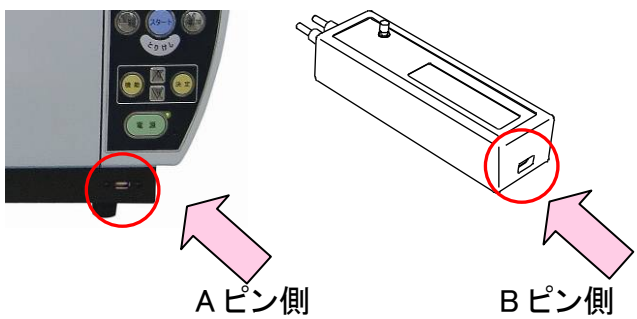
1 機能 を押して



を表示

2 塩分計付属 USB ケーブルの A ピン側をカロリーアンサー本体のフロント USB コネクタに、B ピン側を塩分計の USB コネクタに接続します。





3 塩分計の電源が入り、数秒間のイニシャライズ（初期化）の後、塩分計が待機中となります。

イニシャライズチュウ!!

塩分計 LCD 表示

ソクテイカノウデス
ボタンヲオシテクダサイ

4 ∧ ∨ を押して する を選び

決定 を押す

通常画面に戻ります

オプションのご紹介 （つづき）

＜塩分計を取り外す場合＞

塩分計を取り外す際は、必ずこの手順を行って取り外してください。
本体システムがフリーズする恐れがあります。

1 機能 を押して

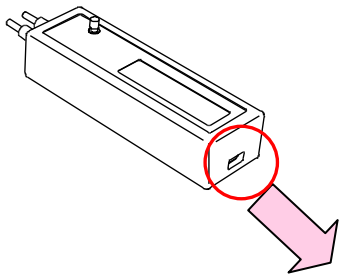
塩分測定器
接続
する しない

を表示

2 ∧ ∨ を押して しない を選び

決定 を押す

3 塩分計本体から、USBケーブルを取り外します。（カロリーアンサー本体のコネクタから取り外してもかまいません）



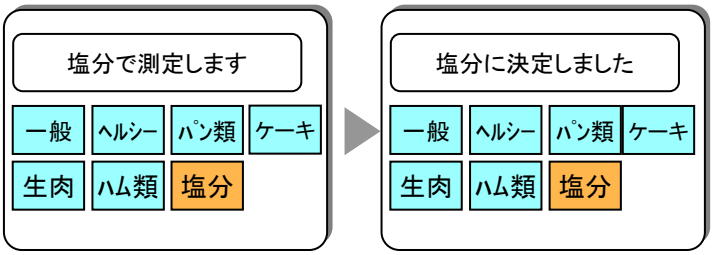
※使用中に USB ケーブルが抜けてしまった場合
本体システムがフリーズする恐れがあります。
フリーズした際は、リセットボタンで復帰して下さい。
リセットボタン→10 ページ参照

オプションのご紹介 （つづき）

＜塩分濃度を測定する＞

1 通常どおり食品のカロリー測定をおこなってください。

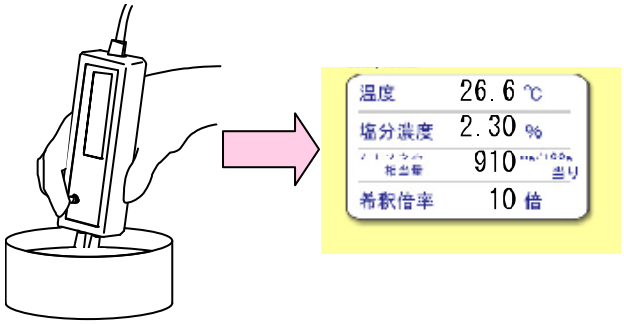
2 メニュー／決定 を押し、＜ または ＞ を押して「塩分」を選び メニュー／決定 を押して決定。



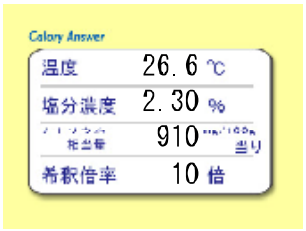
「塩分モードで測定します」

塩分測定画面になります。

3 食品を測定します。
食品の準備、塩分計の取り扱いについては、塩分計付属の「ユーザーズマニュアル」8～14 ページ[測定の基礎知識][塩分計の校正][測定する]を参照してください。

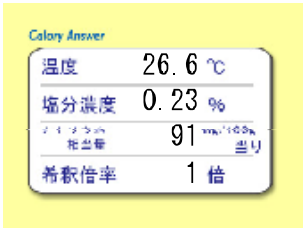


4 この時、選択ボタンを押すことにより希釈倍率を1、10倍のどちらか選択できますので、実際の希釈倍率に合わせてご使用下さい。

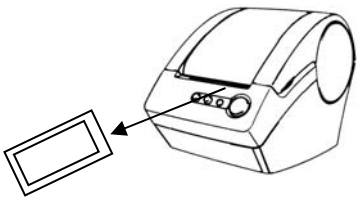


∧ を押すと 10 倍

∨ を押すと1倍



5 また、塩分測定を行ったときは、ナトリウム量の項目を追加した形でラベル印刷することができます。（ラベルプリンタの取り扱いについては 28、29 ページを参照してください）



オプションのご紹介 （つづき）

＜標準的な塩分測定の流れ＞

1 カロリーアンサーより検体を取り出す

2 手袋を着ける

3 検体を4又は8等分し乳鉢へ10g を採取する

4 乳棒で検体が粉体又はペースト状になるまでつぶす

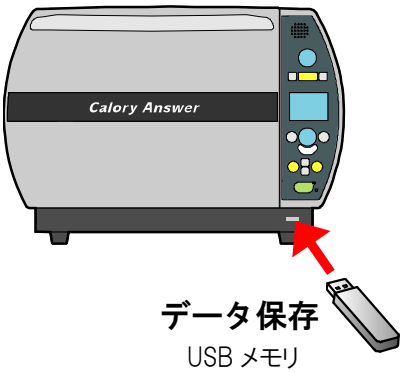
5 精製水 90g を用意

6 ④へ⑤の精製水を加え液状化する

7 フィルターをセットし液体をろ過する

8 ろ過した液体を、測定する

オプションのご紹介【データ管理プログラム】



食品名入力・本体操作
データ管理プログラム
ディスプレイ･マウス･キーボード

データ保存
USB メモリ

カロリーアンサー測定値を食品名と一緒に表形式での管理が可能となります。
また、USB メモリに測定データ表を保存することによりデータ管理も容易になり、カロリーアンサーがより便利にご使用いただけます。

＜塩分濃度を測定する＞

●ディスプレイ、キーボード、マウスを接続する

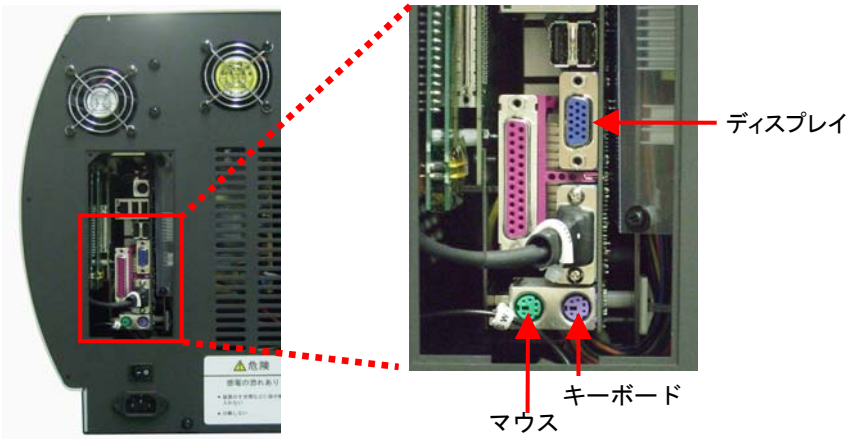
カロリーアンサーの電源を入れる前に、本体背面のメンテナンス部にディスプレイ･キーボード･マウスを接続しておいてください。

警告

接続するコネクタ以外の部分には絶対に触れないでください。感電、機器の故障の恐れがあります。

接続位置

本体背面メンテナンス部



※本体の仕様により、コネクタの位置が写真と違う場合があります。

オプションのご紹介 （つづき）

＜起動･終了と各部の説明＞

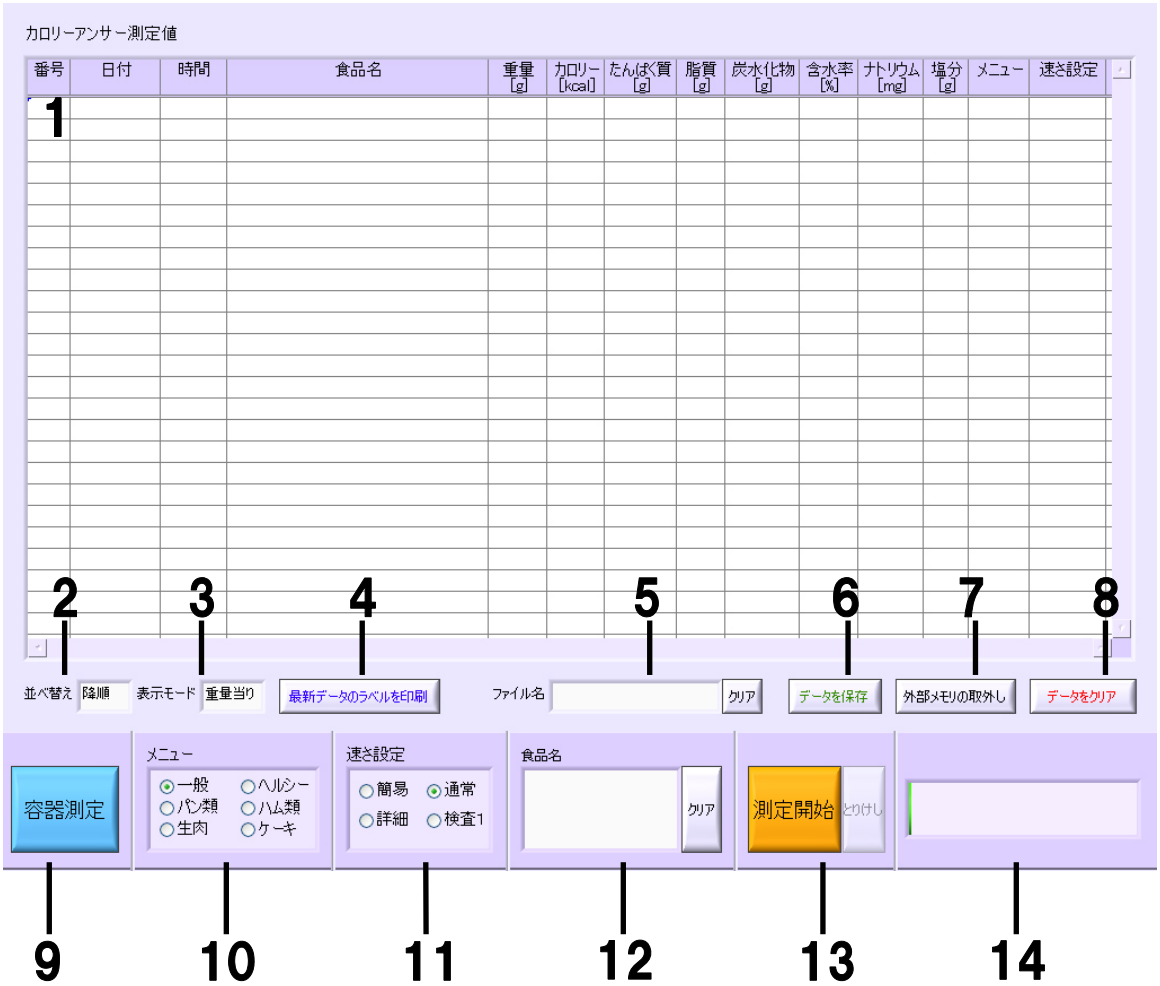
●起動の仕方

カロリーアンサー本体の電源を入れると自動でプログラムが起動し、初期化が開始されます。本体の暖機運転選択画面が表示されますので、どちらかを選択して下さい。本体の測定準備完了後、プログラムの操作が可能となります。

●終了の仕方

カロリーアンサー本体の電源を切ってください。

●表示画面の機能説明



オプションのご紹介 （つづき）

●表示画面の機能説明（つづき）

1. 測定データ表
測定した値を表示します。

2. 並べ替え
データ表の並び方を切り替えます

3. 表示モード
測定した値を、[100g 当り]と[重量当り]で切替えます。

4. 最新データのラベル印刷
オプションのラベルプリンタで、最新データをラベル印刷します。（ラベルプリンタの取扱いについては、本体付属の取扱説明書を参照してください。）

5. ファイル名
測定データ表を保存するファイル名を入力します。クリアをクリックすると入力がクリアされます。

6. データを保存
測定データ表の内容を入力したファイル名で保存します。保存されるデータはタブ区切りのテキスト形式です。

7. 外部メモリの取外し
USB メモリを安全に取り外します。

8. データをクリア
測定データ表の内容をクリアします。一度クリアすると元には戻せません。

重要

ファイル名に半角文字の「¥」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」は使用できません。

9. 容器測定
風袋測定をします。（皿の重さを0gに設定します。）カロリーアンサー本体の「容器測定」ボタンと同じ働きをします。

重要

カロリーアンサー本体が「塩分モード」になっている時は、本プログラムの[容器測定]と[測定開始]は使用できません。

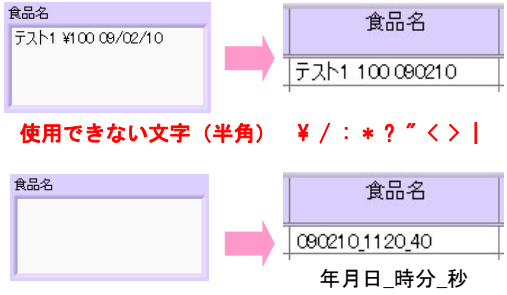
10. メニュー
測定メニューを選択します。（メニューの詳細は本体付属の取扱説明書を参照してください。）

11. 速さ設定
測定の速さを選択します。（速さ設定の詳細は本体付属の取扱説明書を参照してください。）

12. 食品名
測定する食品名を入力します。クリアをクリックすると入力がクリアされます。

重要

食品名に半角文字の「¥」や「/」などは使用できません。（それらの文字は入力しても取り除かれて測定表に記録されます）
また、入力しない場合は測定を開始した時間が測定表に記録されます。



オプションのご紹介 （つづき）

●表示画面の機能説明（つづき）

13. 測定開始

測定を開始します。カロリーアンサー本体の「スタート」ボタンと同じ働きをします。とりけしをクリックすると、測定が取り消されます。

重要

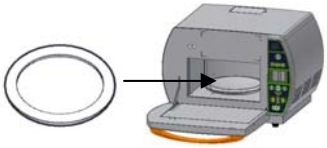
本体側の「スタート」ボタンで測定を開始した場合、本プログラムで選択した[メニュー]、[速さ設定]にかかわらず、本体側で選択した「メニュー」と「速さ設定」で測定されます。

14. インジケータ

測定の進行状況を示しています。

＜ご使用の流れ＞

1. 容器を測定します。容器を回転皿にのせ、[容器測定]をクリックします。

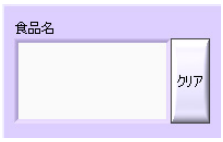


容器測定 をクリック

※本体の「容器測定」ボタンでも構いません。

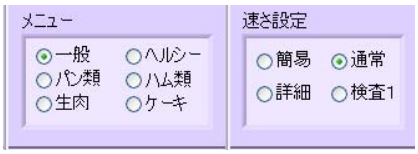
容器測定

2. 測定する食品名を、[食品名]に入力します。



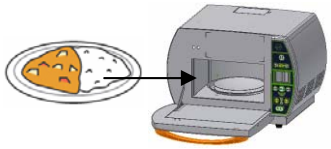
※入力できる文字数は 50 文字までです。
※使用できない文字（半角） ￥ / ： ＊ ？ ″ ＜ ＞ |

3. メニューと測定の速さをクリックして選択します。



※メニューの内容は本体の仕様により変更になる場合があります。

4. 食品を容器に入れ、本体の扉を閉め、[測定開始]をクリックします。測定中に「とりけし」をクリックすると、測定を取り消すことができます。



測定開始 をクリック

※本体の「スタート」ボタンでも構いません。この場合、本体側で設定した「メニュー」、「速さ」で測定されます。

スタート

オプションのご紹介 （つづき）

●表示画面の機能説明（つづき）

5. 測定終了後、測定データ表に結果が表示されます。

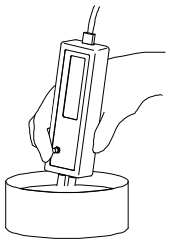
6. 塩分計を使用する場合

取り付け方や取り外し、詳しい取扱いについては、カロリーアンサー本体の取扱い説明書、または塩分計の取扱い説明書を参照してください。

カロリー測定後、塩分計で測定を行うと、[ナトリウム][塩分]項目に追加表示されます。

※ 本プログラムで、「塩分モード」を選択することはできません。

※ 塩分計で繰り返し測定をすると最新の値が表示されます。



重要

塩分計を本体から取り外す際は、システムがフリーズするおそれがあるため、カロリーアンサー本体取扱説明書の「オプションのご紹介　＜塩分計を取り外す場合＞」に従って取り外して下さい。

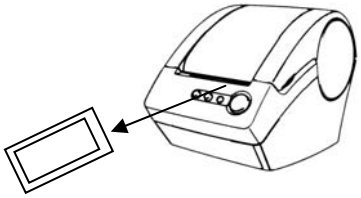
＜その他の使い方＞

●ラベルプリンタ（オプション）で測定結果をラベルに印刷する

ラベルプリンタを本体に接続し、「最新データのラベル印刷」をクリックすることで、直前の測定結果をラベルに印刷することができます。

※　直前の測定結果のみ印刷できます。それ以前の結果を印刷することはできません。

※　その時の表示状態（100g 当り／重量当り）の値が印刷されます。

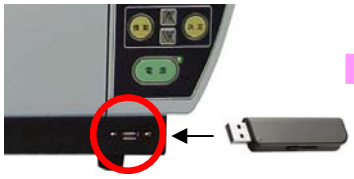


● 測定データを保存する

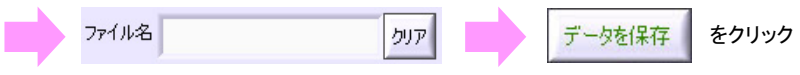
①本体の USB コネクタに USB メモリを取り付けます。

②[ファイル名]に保存したいファイル名を入力します。クリアをクリックすると入力をクリアします。

③[データを保存]をクリックします。入力したファイル名で USB メモリに保存されます。



USB メモリを取り付ける



ファイル名を入力する

※使用できない文字（半角）

¥ / : * ? " < > |

オプションのご紹介 （つづき）

● USB メモリを取り外す

USB メモリを取り外す際は、[外部メモリの取外し]をクリックしてから取り外してください。安全に取り外すことができます。

重要

必ず「外部メモリの取外し」をクリックしてから取り外してください。動作が不安定になったり、保存データが破損する恐れがあります。

OK をクリック

USB メモリを取り外す

● 測定データを編集・印刷する

本プログラムではデータの編集・印刷ができないため、USB メモリから通常ご使用のコンピュータへのデータ移動が必要となります。移動したデータをマイクロソフトエクセルなどの表計算ソフトで開くことで、編集・印刷が可能となります。

重要

ＵＳＢメモリ内のデータおよびパソコン内（ハードディスク等）のデータは、必ず他のメディア（ＣＤ－Ｒ等）にバックアップしてください。

以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- 天災による被害をうけたとき

上記の場合に限らずバックアップ作業を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

MEMO

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック
本社・工場　〒036-0162　青森県平川市館山前田 85-2
TEL：0172-44-8133　FAX：0172-44-8559
Web site　http://www.j-world.co.jp/
E-mail　info@j-world.co.jp

本誌の無断転載および無断複製を禁止します。